

15. 繁殖管理プログラムによる繁殖雌牛の個体管理指導

豊肥振興局

○高野太志

1 取組の内容

繁殖牛をコンピューターのプログラムを利用して管理し、妊娠鑑定可能牛、分娩予定牛、発情予定日等の母牛繁殖状況や子牛市場成績、繁殖成績等を数字で把握、農家と情報を共有しながら、効率的な繁殖雌牛の個体管理の取り組みを実施している。

2 プログラムの作成

表計算ソフトエクセル2007のVBA機能を利用し、繁殖雌牛の個体管理を実施するプログラムを作成した。プログラムの内容を理解できない人でも利用できる。

3 繁殖雌牛のデータベースの作成

県の構築した「肉用牛データ活用システム」を利用して指導する農家の繁殖雌牛の名号、生年月日、登記番号、血統（父・祖父・曾祖父・母牛）、産歴（年月日・性別）等のデータを入力し作成した。

個体識別番号については、子牛の個体識別番号を（独）家畜改良センターの牛の個体識別情報検索サービスで検索して入力した。

4 プログラムの運営

（1）入力

授精（年月日・種雄牛）及び分娩（年月日・雌雄・状況）を農家から聞き取って入力するとともに、家保の実施する妊娠鑑定に立ち会いその結果を入力する。

また、肉用牛データ活用システムの出力データ（子牛市場データ・枝肉データ）とリンクさせて効率的に管理している。

（2）指導

授精等の聞き取り時に農家と情報を共有しながら、早期授精、発情予定日、早期妊娠鑑定、分娩準備等の指導を実施する。また、定期的に母牛繁殖状況一覧を送付し、現在の状態（妊娠・分娩後40日以内・発情警戒）、今後の予定（妊娠鑑定・分娩・子牛離乳・初回発情）の指導を実施する。

個体毎に繁殖成績、子牛市場成績、枝肉成績を出力した母牛台帳により、雌牛の更新保留指導を実施する。

定期的に農家別に子牛市場成績及び繁殖成績を出力し飼養管理指導を実施する。

現在、竹田市の34戸を対象に実施している。